

美濃いび茶 品質良好

初共販会で一番茶の手触りや香りを確認する入札参加者ら＝揖斐郡揖斐川町極楽寺、JA全農岐阜美濃茶流通センター



「美濃いび茶」の一番茶（計約220㌔）を出品し初共販会が28日、揖斐郡揖斐川町極楽寺のJA全農岐阜美濃茶流通センターで開かれ、県内外の卸売業者が今年の出来を吟味し、入札した。

揖斐川町で一番茶初共販会

池田町の約227㌔で作られている県内有数のブランド茶。今年は4月の降水量が多かったものの霜の被害もなく、良質な新茶に仕上がった。

初共販会には、池田町と揖斐川町の生産組合が29点

（計約220㌔）を出品した。業者は25人が参加し、茶葉を一品ずつ手に取って色や香りなどを確認。さらに試飲でじっくりと比べ、入札をしていった。1㌔当たりの平均落札額は4421円（昨年4207円）、最高

価格は8万8888円（同3万8800円）だった。

一番茶の共販会は約1カ月にわたり、計14回開かれる予定。今年の出荷量は二番茶、秋冬茶を合わせ、昨年並みの約240㌔を見込んでいる。（森嶋哲也）